

急性大動脈解離（Stanford B型）における低酸素血症のリスク因子についての検討

1. 研究の対象

当院に2012年1月1日から2020年4月30日までに急性大動脈解離（Stanford B型）で入院された方（入院した発症時間が同定できる方に限ります）。

2. 研究目的・方法

急性大動脈解離は致死的となりうる重篤な疾患ですが、Stanford B型という病態においては基本的には保存的加療が行われます。しかし、治療中に高度の低酸素血症を呈することがあり、その危険因子の探索を行うことで、よりリスクの高い患者さんを見分けることができ、今後の大動脈解離（Stanford B型）患者さんの管理や治療に役立てることに繋がります。診療記録より情報を収集し、高度の低酸素血症との関連について解析を行います。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

患者特性（背景、既往歴、内服薬など）、入院時のバイタルサイン、入院時の血液検査の結果、入院時のCT検査所見、入院後の血液検査の結果、入院後のCT検査所見など
この研究のための、追加の検査等はいりません。

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、診療情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

済生会熊本病院 集中治療室 研究責任者 亀谷智子
住所 熊本市南区近見5丁目3番1号
電話番号 096-351-8000（病院代表）

以上